

「第9回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」実施のお知らせ

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会
講習委員会
SE養成講習会実行委員会

本養成講習会は、車椅子や姿勢保持装置などのシーティングを適切に供給できる、高い適合技術をもった技術者を養成することを目的としています。あわせて認定試験を実施し、技術専門職「シーティングエンジニア」として協会で認定していくものです。シーティングエンジニアの具体的なレベル設定としては、「シーティングカンファレンスに参加して、協議されている内容を理解し、製作ならびに選定・調整に必要な情報を得ることができ、装置を企画し技術的提案ができる者」と考え、企画・計画しています。

車椅子・シーティングに関わる業務としては、「重度の障害者のフルオーダーの姿勢保持装置の製作」から、「モジュラータイプの製品を利用した車椅子の選定・調整」までスタイルは様々です。このため本養成講習会は、「車椅子・シーティングに携わり適合性の向上を目指すにあたっては、シーティングの知識・技術の全体を把握しておくことがとても重要」という観点で計画し、カリキュラムの構成も全体的なバランスを考えたものとしています。

このような考えのもと、本協会が目指すシーティングエンジニアを養成するために、本養成講習会は「評価」・「シーティングの基本的な考え方」から「シミュレーション・適合の実技」をとおりシーティングの知識・技術の全体を把握し、最終的には「症例シーティング演習(具体的な事例をもとに、ケース毎に姿勢を決定し具体的な装置をイメージしていく演習)」にて装置を企画し技術的提案をしていくことに重点をおいた内容としています。(実業務におきましては、姿勢を決定し具体的な装置をイメージした後に、個別に製作してアプローチする方法と、装置もしくは部品を選定・調整してアプローチする方法とを、どのように選択して取り入れていくのが決定されます。)

また、実技・実習・演習の講義においては、少人数の班分けを行うとともに講師のほかにも各班に講師助手を1名ずつ配置し、講義をスムーズにかつ内容濃く進行していけるよう配慮しています。

実施概要・カリキュラム・講義内容に加え、これまで実際に受講されました方々の受講感想ならびに受講アンケートの中から感想・ご意見をいくつか抜粋しております。ご参考にしていただき多くの方に受講していただきますよう、お知らせ・ご案内いたします。

<実施概要>

1. 主催

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会

2. 共催(予定)

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団

3. 後援(予定)

公益財団法人 テクノエイド協会

一般社団法人 日本義肢協会

一般財団法人 啓成会

4. 日程および会場

日程: 平成30年11月15日(木)～19日(月) <5日間>

会場: 横浜市総合リハビリテーションセンター (神奈川県横浜市港北区鳥山町1770番地)

5. 受講および受験資格

＜シーティングエンジニア養成講習会 受講資格＞

◎車椅子・シーティングに関わる実務経験を有し、下記①～④のいずれかに該当する者。

- a. 実務経験は、車椅子または座位保持装置の製作・選定・調整・適合・処方・支給判定等、いずれかの業務に該当するものとします。
- b. 実務経験事例報告1例を提出して下さい。(提出をもって、実務経験の確認と致します。)
 - ・申込者には、実施要領とともに記入用紙および記入例などを別途送付いたします。
 - ・実務経験事例として、対象ケースでの姿勢を保持するうえでの問題点と、それに対してどのように対応・対策を行ったかの概要を記入して下さい。
- c. 下記①～③の講習会・セミナーの修了証又は認定証、もしくは④の国家資格免許証の写しを申込書とともに FAX して下さい。

①車椅子姿勢保持適合技術連絡会 主催「車椅子フィッティング基礎講習(障害分野)過程」、(旧)車いす姿勢保持協会ならびに(一社)日本車椅子シーティング協会 主催「車椅子・シーティング基礎講習会(旧車椅子・シーティング技能者講習会)」、(旧)NPO法人 福祉用具適合技術協会 開催「姿勢保持講習会」のいずれかを修了した者。

※「第1回車椅子フィッティング基礎講習(障害分野)過程」修了見込みの方も申込み可能です。

②上記、①の講習会と同等とみなされる次のイまたはロの講習を修了した者。

イ.(一財)啓成会「車いす・シーティング製作技能養成コース」

ロ.(公財)テクノエイド協会「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」

※上記研修にて、車椅子・シーティング基礎講習に該当する全科目を履修した者。

③(一社)日本義肢協会主催「座位保持装置製作者認定セミナー」認定試験に合格した者。

④下記いずれかの国家資格を有する者。

医師、理学療法士、作業療法士、義肢装具士

＜シーティングエンジニア認定試験 受験資格＞

シーティングエンジニア養成講習会を修了した者

6. 募集定員：35名(5班*7名) ※応募者が28名に満たない場合は実施を取りやめる場合があります。

7. 募集期間：～平成30年10月4日(木)迄

8. 受講・受験料

養成講習会 受講料 70,000円 (協会員は60,000円)

認定試験 受験料 10,000円 (認定試験を受験されない場合は必要ありません)

※上記には食事代、懇親会参加費(11/16講義終了後開催予定)、宿泊費等は含まれておりません。

※養成講習会テキストとして「車いす・シーティングの理論と実践」(はる書房発行)を使用しますので、お持ちでない方は別途購入が必要となります。

※当協会での宿泊の用意はありませんので、必要な場合は各自で手配して下さい。

9. 養成講習会の内容

別紙カリキュラムならびに講義内容に見るとおり。

※計画の内容は変更する場合がございますので、予めご了承ください。(変更があった場合にはご案内します。)

(問合せ先)

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会事務局(担当：林・山元)

〒105-0014 東京都港区芝 2-2-12-301 ローヤルマンション金杉

TEL:03-6435-0365 FAX:03-6435-0366 E-mail: info@j-aws.jp

**第9回 シーティングエンジニア養成講習会および認定試験
受講・受験 申込書**

(申請日 平成 30 年 月 日)

申請者	フリガナ.....		(生年月日)	
	氏名:	男・女	昭和・平成	年 月 日
申請者 自宅住所	〒 _____			
電話連絡先	自宅	— —	携帯	— —
所属先	名称			
	所在地	〒 _____		
	TEL	— —	FAX	— —
採型器 について	業務で採型器を 使用している	使用している採型器	<input type="checkbox"/> ピンドット KISS シミュレーター <input type="checkbox"/> アシスト 採型器 <input type="checkbox"/> 川村義肢 採型器 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	はい・いいえ			

< 受講資格確認 > ※申込後、10月19日(金)迄に実務経験事例報告1例の提出が必要となります。

◎ 車椅子・シーティングに関わる実務経験

- ・西暦_____年____月 より 2018年11月14日迄 _____年 _____ヶ月
- ・実務…製作・選定・調整・適合・処方・支給判定・その他()
- ・資格…医師・理学療法士・作業療法士・義肢装具士・福祉用具専門相談員・その他()

※ (実務・資格: 該当するものを○で囲んでください。複数可)

- (旧)車いす姿勢保持協会ならびに(一社)日本車椅子シーティング協会 主催
「車椅子・シーティング基礎講習会(旧車いす・シーティング技能者講習会)」修了者
- (旧)NPO法人 福祉用具適合技術協会 開催の「姿勢保持講習会」修了者
- 車椅子姿勢保持適合技術連絡会 主催「車椅子フィッティング基礎講習(障害分野)課程」修了者
- (一財)啓成会「車いす・シーティング製作技能養成コース」修了者
- (公財)テクノエイド協会「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」修了者
※上記研修にて、車椅子・シーティング基礎講習に該当する全科目を履修した者。
- (一社)日本義肢協会主催「座位保持装置製作者認定セミナー」認定試験合格者。
- 下記いずれかの国家資格を有する者

医師・理学療法士・作業療法士・義肢装具士 (該当する資格を○印で囲んでください)

※ 上記いずれかの□にチェックを入れ、該当する講習会・セミナーの修了証または認定証、国家資格を有する場合は免許証の写しを本申込書とともにFAXして下さい。

シーティングエンジニア認定試験	受験する ・ 受験しない
-----------------	--------------

※申込み内容に不備が無い場合は、受付印を押印して記載の所属先FAX番号宛に送信します。

(協会使用欄)	受付	修了証等	事例報告
受講・受験番号			

申込先FAX番号：03-6435-0366

平成 30 年度「第 9 回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」カリキュラム

会期：平成 29 年 11 月 15 日～11 月 19 日（5 日間） 会場：横浜市総合リハビリテーションセンター

※内容等は都合により変更となる場合があります。

平成 30 年	1 日目 11/15(木)		2 日目 11/16(金)	3 日目 11/17(土)	4 日目 11/18(日)	5 日目 11/19(月)
		9:00～10:30	⑤ シーティングにおける 考え方とポイント 1 空閑 進	⑩ フレーム構造と機能 本郷 正徳	⑮ 症例シーティング 演習 1 岸本 光夫	9:00～10:00 ⑳ SEの意義と役割 伊藤 利之
		10:40～12:10	⑥ シーティングにおける 考え方とポイント 2 空閑 進	⑪ シミュレーション 採型(実習) 1 空閑 進	⑯ 症例シーティング 演習 2 岸本 光夫	10:10～11:40 ㉑倫理とモラル 寺光 鉄雄
11:45～12:15	受付					
12:15～12:30	開講式					11:40～12:40
12:30～13:45	①評価1 岸本 光夫	12:10～13:10	昼 休 み	昼 休 み	昼 休 み	昼 休 み
13:55～15:10	②評価2 岸本 光夫	13:10～14:40	⑦ 身体支持部 ウレタン削りと張り調整 (実習) 1 張り調整 山崎 雅幸	⑫ シミュレーション 採型(実習) 2 空閑 進	⑰ 症例シーティング 演習 3 岸本 光夫	12:40～14:10 ㉒ シーティングクリニック (チームアプローチの重要性) 飯島 浩
15:20～16:50	③褥瘡予防と高齢者の シーティング 木之瀬 隆	14:50～16:20	⑧ シミュレーション 採寸(実習) 西方 倫彰	⑬ シミュレーション 採型(実習) 3 空閑 進	⑱ 症例シーティング 演習 4 岸本 光夫	14:20～15:50 認 定 試 験
17:00～18:30	④ アクティブユーザの シーティング 芝崎 泰造	16:30～18:00	⑨ 身体支持部 ウレタン削りと張り調整 (実習) 2 ウレタン削り 田中 章宏	⑭ シミュレーション 採型(実習) 4 (まとめ・質疑) 空閑 進	⑲ 症例シーティング 演習 5 岸本 光夫	16:00～16:20 閉講式

予定講師（敬称略・50音順）

飯島 浩(SE、RE・横浜市総合リハビリテーションセンター)

空閑 進(SE・株式会社 きさく工房)

西方 倫彰(SE・株式会社 きさく工房)

伊藤 利之(医師・横浜市総合リハビリテーションセンター)

芝崎 泰造(株式会社ミキ)

本郷 正徳(SE・株式会社ジェー・シー・アイ)

岸本 光夫(OT・重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎)

田中 章宏(SE・有限会社であい工房)

山崎 雅幸(SE・株式会社シーズ)

木之瀬 隆(OT・株式会社 シーティング研究所)

寺光 鉄雄(公益財団法人 テクノエイド協会)

[凡例] OT:作業療法士 RE:リハビリテーション工学技師 SE:シーティングエンジニア

<第9回 シーティングエンジニア養成講習会 講義内容>

①～②評価

- 発達障害から高齢者までの評価に関する内容を実習・演習に先立って復習する。
- 身体状況・障害状況からの問題点とその対策・対応一覧表

③褥瘡予防と高齢者のシーティング

褥瘡発生メカニズムを理解し、褥瘡予防のシーティングを学習する。ならびに高齢者のシーティングにおける留意点・ポイントを学習する。

④アクティブユーザのシーティング

アクティブユーザを対象にした、車椅子の駆動ならびにシーティングの適合のポイントを学習する。

⑤～⑥シーティングにおける考え方とポイント

- シーティングにおける考え方とポイントを学習する。
- 評価から採寸までの考え方とポイント
 - 身体状況・障害状況からの問題点とその対策
 - 姿勢の決定 ・背もたれ重視の考え方
・脊柱側弯での前額面・水平面での支持の考え方と適用
 - 装置に求められる機能

⑦・⑨身体支持部 張り調整とウレタン削り (実習)

実際に普通型車椅子やリクライニング型車椅子などを用い、人体ウレタンモデルや受講者がモデルとなり、張り調整を行うとともに、座面・パッド等を削り合わせる等の適合実習を行う。

⑧シミュレーション 採寸 (実習)

採寸を行ううえでの留意点とポイントを学習するとともに、人体ウレタンモデルや受講者がモデルとなり、採寸の実習を行う。

⑩フレーム構造と機能

フレーム構造毎のその機能的特長ならびに、メリット・デメリットを学習する。

⑪～⑭シミュレーション 採型 (実習)

- 人体ウレタンモデルを使ってシミュレーションを行い採型技術の向上とポイントを学習する。
- 人体ウレタンモデルの見方と特徴の解説
 - 変形モデルそれぞれの身体状況・障害状況からの問題点を抽出・整理し、さらに採型のポイントを解説
 - 使用目的・主対策点毎の対策特徴を理解し、シミュレーション(採型)を行う
 - 最後にまとめ・質疑の時間を取り、理解を深める

⑮～⑲症例シーティング演習

- 具体的な事例をもとに、ケース毎に姿勢を決定し具体的な装置をイメージしていく演習を行う。
- 具体的な事例を数例用意 (各々の例毎に身体状況・障害状況からの問題点を整理)
 - 問題点を受けて、どのように対策し、どう対応していくのかを班ごとに検討する
 - 事例毎にセラピストの先生からコメントをもらう事でより深めていく

⑳シーティングエンジニアの意義と役割

シーティングエンジニアの意義と役割について、医師の立場から話していただく。

㉑倫理とモラル

シーティングエンジニアとしての職業倫理とモラルについて、専門家を招いて学習する。

㉒シーティングクリニック (チームアプローチの重要性)

シーティングクリニックのありかた、チームアプローチの重要性ならびに、医師・セラピスト・工学技師・SEの役割について学習する。